取組み事例：シン・エナジー株式会社(2023年6月時点)

未来を創る　共に生きる

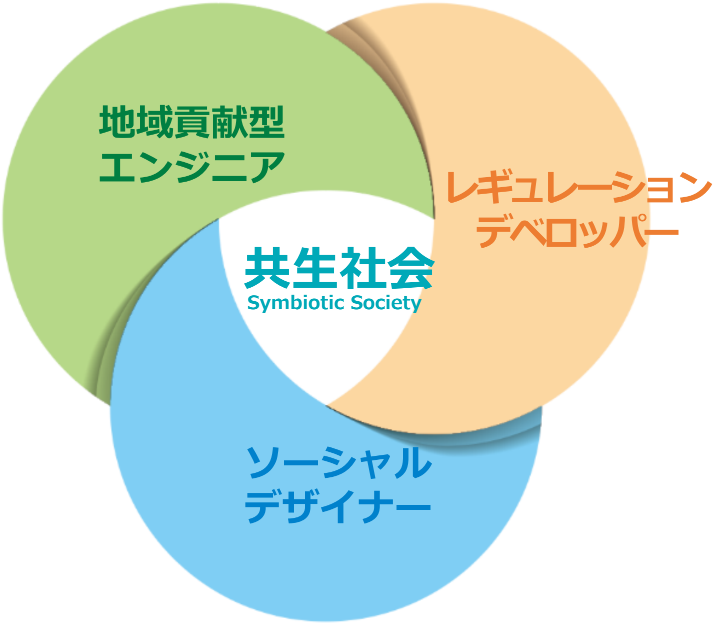
SymEnergy

Symbiosis【共生】 × Energy【エネルギー】

- 社名(商号)：　シン・エナジー株式会社
- 本社所在地：　神戸市中央区御幸通 8-1-6 神戸国際会館 14 階
- 事業エリア：　全国
- 定格容量　：　約 240 MW
- 公式HP　　：　https://www.symenergy.co.jp/

シン・エナジーの事業領域

再エネエンジ×電力調整&支援×ローカルデザイン



- 再エネ等の地域循環をエンジニアリングで最大限サポート
- 電力の変動や価格変動を吸収、調整する機能を開発
- 地域の資源と人材、そして社会的な仕組みをデザインする

シン・エナジーのビジョン

地域内でエネルギー・経済・幸せが循環する社会へ

取組み事例：バイオマス発電/有田川バイオマス発電所

FOURE

取組みモデル：有田川バイオマス発電事業

取組み概要

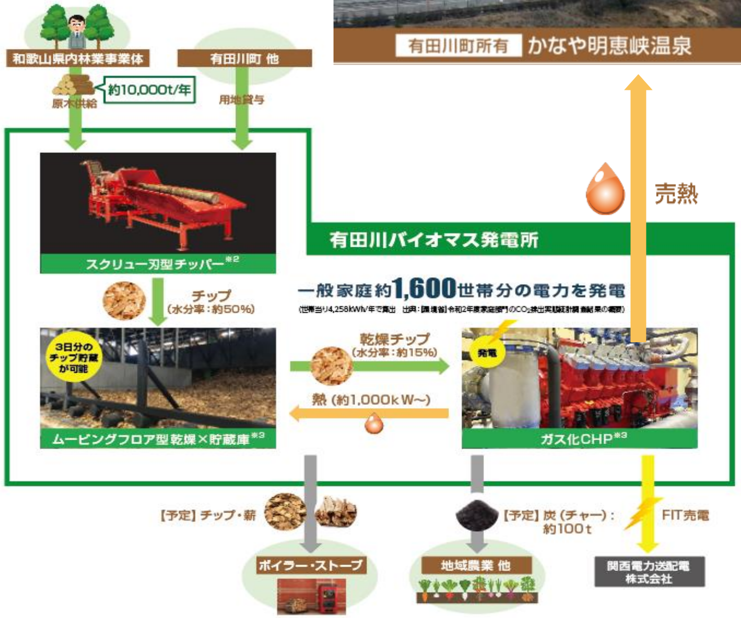
有田川バイオマス発電所　概要

- 発電出力：900 kW（URBAS 450 kWタイプ × 2基）
- 木材消費：約10,000 t（WB 50%）
- 年間売電：6,700 MWh
- 売電先　：関西電力送配電株式会社

事業者	有田川バイオマス株式会社
協力者	地元林業事業者、建設会社、シン・エナジー、ほか
対象エリア	全国

取組み概要

特徴
- 地元の木材100%利用
- 燃料チップ工場を併設
- 発電所の排熱は温泉とチップ乾燥に利用



詳細

- 本事業は、和歌山県有田川町において県産の豊富な森林資源を活用し発電を行う事業です。
- 地元関係者が出資している有田川バイオマス株式会社が主体となり発電事業を行うことで、地域主導の意思決定を可能としています。
- 「地域木質資源の適切な利用」「地域経済の循環」「新たな雇用の創出」を促すことで、「持続可能な有田川町」の実現に寄与します。

取組み事例 ：バイオマスボイラー/六甲国際ゴルフ倶楽部

FOURE

取組み概要

事業者	シン・エナジー株式会社
協力者	六甲国際ゴルフ倶楽部
所在地	兵庫県神戸市
施設名(用途)	六甲国際ゴルフ倶楽部
スケジュール	2022年 7月　運転開始

取組のきっかけ、課題/工夫点等

- 兵庫県内で加工された木質燃料を利用し、化石燃料からほぼ100%転換。
- 年間約166tのCO_2と、年間約390万円の燃料代を削減
- 景観に配慮し、ゴルフ場を利用するお客様からはほとんど見えないよう、コンパクトに設計
- チップの投入以降は全自動で出力を管理可能であり、スマートフォン等で遠隔で稼働状況を確認可能
- エラー発生時でもメールに寄って通知されるため、現地での監視の必要はない

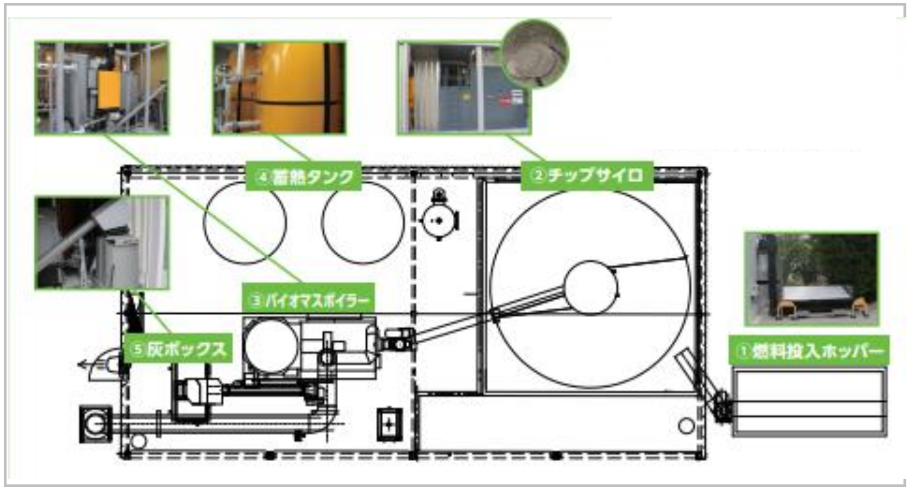
重油からバイオマスに転換し、
場内の温浴施設に熱供給

従来	重油ボイラー
年間重油使用量	約60,000ℓ

→

現在	バイオマスボイラー
木質燃料にほぼ100%転換	

導入設備詳細

設備	ETA社製ボイラー　熱出力250 kW 燃料投入ホッパー、垂直搬送装置、サイロ、蓄熱タンク、等
熱使途	クラブハウス内の温浴施設や給湯に使用

設備の概略設計